

1 学校教育目標

○思いやりのある子 ○深く考える子 ○進んで実行する子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○児童が安心して学び、安全に楽しく学習や生活ができる学校 ○教職員がチームとしての力を発揮し、教育目標の達成に燃える学校 ○児童、保護者、地域社会から信頼される開かれた学校
○児童・生徒像	○溢れる意欲と基礎的な学力を身に付けた児童 ○心身共に健康で心豊かな児童 ○安全への意識をもち、たくましく生きる児童
○教師像	○専門職としての見識と、豊かな個性や人間性を身に付けた教師 ○児童を心から愛し、保護者、地域社会とともに児童の成長を喜びとする教師 ○チーム西一小としての責任感、協調性を有し、互いに資質・能力を高め合う教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

◎学校の現状

- ・児童数は400名弱程度であるが、欠席が一日平均10人前後と少なく、児童は明るく素直である。自分からあいさつできる児童が増えてきている。
- ・教師の人間関係が全般的に良好で和やかであり、前向きで意欲的・協力的である。指導力を高めたいという意欲とチームで指導に当たろうとする意識がある。
- ・今年度、本校は創立70周年を迎える。地域の方々には学校や地域を愛する気持ちが強く、その力を子供たちの学習に向けてくれる。

◎前年度の成果

今年は「やるかやらないか」ではなく、「どうやるか」という目標を掲げ、学校教育活動全般を行っていくようスタートを切った。学習や行事などでは、児童の活動での活躍場面を確保することができた。それは、昨年度できなかった運動会や宿泊行事が挙げられ、やはり児童は鍛えられ、成長した様子がみられた。学年を超えた交流も少しもつことができ、それらの活動の中で、児童は自己肯定感や、自己有用感を高められた。

◎今年度の課題

計画していた課題を見送ったこともあった。次年度は、はじめからコロナ禍での実施になっても、実施方法を計画していくようにし、今年の実施できないことを減らす、そこを目標の一つにしていきたい。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		H30	R1	R2	R3	R4
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	○
2	心身共に健康で、心豊かな児童の育成	○	○	○	○	◎
3	安全への意識を高め、たくましく生きる児童の育成	○	○	○	○	○
4						

5 令和3度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
確かな学力の定着		区調査の通過率 75%以上							
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象児童 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	・朝学習 (ベシ ック タイ ム)	全児童 国語 算数	毎週火 (国語) 毎週水 (算数) 毎週金 (読書)	担任：学習内容の復習 ・確認 ・算数AIドリル ・漢字スキル	算：AI ドリル 国語：漢字 ミニテスト	活用の見通し が分いたら、算 数で毎時間、家 庭学習では週 2回以上活用			
2 継続	・放課後学 習タイム	調査、単 元テスト 等で正答 率70%未 満の児童 国語・算 数	4～6 年(毎週 木) 1～3 年(毎週 金)	・担任(中間層)、専科(下 位層)の少人数指導 ・つまずきを遡り当該学年 及び前学年の内容を学習	定着度 確認テスト (12月、2月)	区調査の通過 率75%以上			

3 継続	・西一タイム	単元テストなどで正答率70%未満の児童 国語・算数	毎週水5校時	以下、学校全体としてシステム化して実施する。 ・・・学力調査の結果を全学級が一覧表にして分析する。全体共有して学年や単元に特化した補充を行う。	定着度 確認テスト (12月、2月)	区調査の通過率75%以上			
4 継続	・ICTの活用	全児童	各教科・領域等	1日1回は、授業(算数)の中でタブレット(AIDRIL)を活用する。	実施状況について、7月、12月、2月に調査	2月の段階で担任の8割			
5 継続	・復習タイム	全児童	算数単元テスト実施後	・担任(上位層)、専科(下位層)の少人数指導 ・テストの解説、訂正をおこない上位層は発展問題、下位層は基礎基本の確認	ベーシック診断テスト 定着度確認テスト(12月、2月)	区調査の通過率75%以上			
6 継続	・家庭学習がんばろう週間	全児童	月初め1週間	・家庭学習の提出率を確認 ・保護者への意識付け	年間3回の「生き生き生活週間」において学習時間の調査を実施	設定した目標学習時間95%の児童が達成			
7 継続	・学校図書館の活用	全児童	その都度	・年間3回の旬間 ・年間2回の先生による各学級への読み語り ・「調べる学習コンクール」での図書の利用と作品の応募3・4年に位置づけ ・各学年の年間計画への位置付け	学校図書 基本計画	1か月に2冊以上読む児童の割合50%(カード活用) 調べる学習コンクール応募3・4年全員			

重点的な取組事項－2		心身共に健康で、心豊かな児童の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
心豊かな児童の育成		以下8項目のA評価80%以上達成			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
・心身の健康づくりの奨励	○健やか会議を1回開催する。 ○歯磨きの取り組み 1年で授業、全学年給食後のぶくぶくうがい ○長縄や持久走の運動及び体力向上の取り組みを実施する。	・心身の健康づくりをめざし、校医、PTAと連携して行う。 ・歯ろー6ちゃん(1年) ・短縄週間、長縄週間を年間2回ずつ実施、持久走週間1回実施			
・生活習慣の確立	○「いきいき生活週間」の取り組みを年間3回実施する。	・無理ない時間設定を相談し実行可能な目標で実施する ・			
・豊かな体験活動による思いやりの心の育成	○周年行事を通じた地域との交流 全学年が実施 ○ピカピカデー 年間2回実施	・各学年にテーマを設けた地域学習とその成果発表実施 ・地域の公園清掃奉仕活動			
・「食」への自己管理能力の向上	○給食メニューコンクール ○食育授業 ○給食残さい率1.8%以内を目指す。	・56年は全員が応募 ・各学年年間1時間以上 ・もりもり給食ウィーク			

重点的な取組事項－3		安全への意識を高め、たくましく生きる児童の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
安全意識の高揚		実施 100%			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
・保護者や地域関係機関と連携した保健・安全教育の推進	○避難訓練を年間 11 回実施。6 年救急救命訓練（AED 操作訓練含む）を実施。 ○薬物乱用防止教育（6 年）自殺防止教育（5 年）を年間 1 回実施。	・避難訓練年間 11 回（うち、可能ならば放課後子ども教室との共催） ・消防署見学（3 年） 消火訓練（4 年）、 起震車体験（5 年）			
・地域安全ボランティア・保護者と共に児童の登下校の安全確保	○地域の方々、PTA 校外部と教員の下校の見守り年間 2 回実施。 ○年間 3 回の登校指導、あいさつ指導	・地域安全ボランティアへの感謝集会を 11 月に実施。 ・集団下校を PTA と連携し年間 1 回行う。 ・各学年及び教員で校門において朝あいさつ運動を行う。			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）